



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



クラブアッセンブリー 藤本ガバナー補佐来訪

第2680地区東播第二グループガバナー補佐 藤本 定男 様

本日はI.M. (2009年2月7日(土))第1部講演の講師紹介をいたします。

平林克敏氏(70代 経済・登山界の方です。)本人は長野県出身の方で高校・大学と登山部に属し、卒業と同時に関西電力に入社、黒四ダム建設に従事。(山中を調査で歩き廻る)その後、登山に伴うその肉体的、精神的、又企画力の強さが買われ1960年(S35)(株)ダンロップに入社、現在の住友ゴム工業(株)です。



その後(1994年)、住友ゴム欧州会社社長・本社専務を経て、(株)ダンロップスポーツ代表取締役社長・会長を歴任。登山歴として

1960年 中国アピ峰 初登頂

1963年 サイバル峰 "

1970年 日本山岳会エベレスト最高峰登頂(植村直己氏共)

1985年 日中友好合同登山隊長としてナムナニ峰初登頂に成功

友人として 冒険家の 植村直己(マッキンレーで遭難)

ヨット冒険家 堀江兼一さん

登山家 深田久弥(日本百名山) 三浦雄一郎(スキヤー, エベレスト登山)

女性 田部井淳子, 今井道子さん等々

今回選んだ理由の中には、現在及び今後の不景気な、不確実な時代を生き抜く「道しるべ」となります様に! 又講師平林さんの様に、その「熱き心」が持てます様に! 話をさせていただく事を、期待したいと思います。以上で紹介を終わります。

次にI.M. 第2部の懇親会でのアトラクションとして、各クラブに1~2組(約10分)の余興出演をお願いしております。そして出来れば準備の都合上、当月末までに出演人数と出し物を私宛報告いただき度くお願い申し上げます。私の時間を終わります。有難うございました。

当(高砂)クラブからは早速出演申込をいただきました。有難うございます。

プログラム予定

10月22日(水)	10月29日(水)	11月5日(水)	11月12日(水)
卓話 松尾会員 「介護事業における日本とタイの事情について」 【職業奉仕委員会担当】	ガバナー公式訪問 宮本 一 ガバナー 来訪	卓話 鹿間 虹美 会員 【ロータリー財団委員会担当】	卓話 志方 正昭 会員

本誌は、職場や家庭に持ち帰って、皆様と一緒に読み下さい。



Donation **ニコニコ報告**

**東播第2グループガバナー補佐
藤本 定男**

お世話になります。

鹿間 行雄

藤本ガバナー補佐，ようこそ。
本日はお世話になります。よろしくお願ひ致します。

岡本 崇司

本日はクラブアッセンブリーです。
藤本ガバナー補佐よろしくお願ひ致します。

田水 敬雄

藤本ガバナー補佐様，本日のクラブアッセンブリーご苦勞様です。よろしくお願ひ致します。

大森 千里

藤本ガバナー補佐をお迎えして。

**増田耕太郎・大橋 卓司・志方 正昭
井野 隆弘・嶋谷 拓雄・矢野 聡**

藤本ガバナー補佐，ようこそいらっしゃいました。どうぞよろしくお願ひ致します。

庄司 武

柿木様，先日は何から何までお世話になりありがとうございました。

青木 裕加

辻田会員，解りやすく楽しい卓話を有難うございました。

竹原 俊三

結婚記念日のお花，有難うございました。

尾崎 和夫・秋元 康人

先日，創立30周年記念誌を戴き有難うございました。ますますの御発展を期待しております。

伊藤 勝之・砂川 仁史

早退しますので。



Secretary **幹事報告**

第13回 通算1377回

1. 回覧その他

国際ロータリー第2680地区よりガバナーエレクト事務所開催のお知らせが届いています。

明石西ロータリークラブより45周年記念誌が届いております。

国際交流協会より国際交流通信が届いております。

国際ロータリー第2680地区2009-10年ロータリー青少年交換長期プログラムについて一部変更の連絡が届いています。

11月19日と11月5日のプログラムを差し替えます。

11月	
5	卓話 鹿間虹美会員 【ロータリー財団委員会担当】
12	卓話 志方正昭会員
19	卓話 大橋卓司会員
26	卓話 田中申明会員



Neighbor-club information **近隣クラブINFORMATION**

クラブ名	変更内容	日時・場所
姫路南ロータリークラブ	時間変更	10/27(月) 17:30より
姫路中央ロータリークラブ	職場例会	10/23(木) 10/25(土) 於:大飯原子力発電所

例会記録 2008. 10. 8 (水) 通算1453回

ソング 「我等の生業」「歓迎歌」
四つのテスト 唱歌委員長 濱田 喜重
本日のゲスト 第2680地区東播第二グループ
ガバナー補佐 藤本定男様



出席報告 9月24日 会員数 52名 欠席者 8名 出席率 82.98% <修正による>
(この内出席免除者9名)
10月8日 会員数 52名 欠席者 12名 出席率 74.47%
(この内出席免除者9名)

播磨ゆかりの偉人伝 ⑬

天竺徳兵衛 (てんじく・とくべえ) 海外貿易の先駆者

わずか15歳の若さで朱印船に乗り込める幸運。その胸が大きな期待で躍ったとしても、当然のことだろう。江戸初期、寛永3(1626)年のことだった。徳兵衛の貿易商としてスタートである。

幼名は徳蔵。慶長17(1612)年、高砂の船頭町で生まれ、塩問屋・赤穂屋の跡取り息子だった。幼いころから海が好きで、東は明石沖、西は飾磨沖まで平気で泳ぎ回ったという。

元服した徳兵衛は、京都の貿易商・角倉与一が持つ朱印船の船頭・前橋清兵衛と知り合った。「どうだ。朱印船に乗って海外に行ってみないか」。もちろん、その誘いを徳兵衛は2つ返事で引き受けた。



船頭に書記に採用されて初めて経験する朱印船での航海。長さ36メートル、幅16メートルというから当時としては大型船だ。それに約400人が乗り込んだ。目的地のシャム(タイ)まで、139日もかかったというから大変である。

徳兵衛は1年間滞在している間にインドも訪ねた。これをきっかけにインドにはタイ経由でしばしば渡って貿易に従事している。「天竺」とは中国、日本で用いたインドの古称。天竺徳兵衛といわれるようになったのも、そのへんから由来しているようだ。

徳兵衛は、自らの体験を基に「天竺渡海物語」なる見聞記をまとめている。これは当時の貿易事情を知る上で重要な史料になっている。

その見聞記がきっかけで徳兵衛は歌舞伎の世界にも登場。「天竺徳兵衛聞書往来(てんじくとくべえききがきおうらい)」とか「天竺徳兵衛韓漸(てんじくとくべえいこくばなし)」とかが上演され大当たりした。

海外貿易の先駆者は、高砂市高砂町横町の善立寺の墓で眠っている。

(主な参考文献=寺林峻・著「播磨百人伝」神戸新聞総合出版センター)

会長 鹿間行雄 幹事 岡本崇司 クラブ会報委員長 菊地敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)